

第165回国際高官セミナーに参加して

神戸地方裁判所裁判官 中川 卓久

私は、平成29年1月12日から同年2月10日までの間に実施されました標記のセミナーに参加いたしました。

主要課題は、「少年司法と国際準則」でしたが、セミナーでは、海外の専門家の方々による講義・パネルディスカッション等を通じて少年司法に関する条約、国際準則及び諸外国の実務について理解を深め、国内の専門家や研修所の所長、次長及びセミナー担当教官の方々による講義等を通じて日本国内の少年司法制度・実務を確認し、これらを踏まえて、海外参加者とのグループワークにおいて、各国の少年司法制度・実務に関する知識・経験を共有しながら、各国が取り組むべき課題、改善策等について活発に意見交換を行い、有意義な提言をまとめることができました。

また、これらの国際会議室やセミナー室での活動以外にも、東京保護観察所の見学、法務大臣への表敬訪問、法務事務次官招宴、最高裁判所大法廷の見学、東京地方裁判所での刑事裁判傍聴、東京家庭裁判所少年審判廷の見学、保護司との意見交換会、保護司宅への訪問、以前研修に参加された方々との意見交換会等、数々の研修所外での活動に参加することができました。

これらの日帰りの活動以外にも、広島・京都への研修旅行が実施されました。広島では、高等検察庁検事長へ表敬訪問し、更生

保護施設を見学した後、アジア刑政財団広島支部の方々から歓迎を受けましたが、広島出身の私としては広島の方々の大変温かいおもてなしに感激いたしました。翌朝、平和記念公園を訪れた後、京都へ向かい、京都医療少年院と京都少年鑑別所を見学した際には、どちらの施設にも以前研修に参加された方々が勤務されており、少年司法の分野においてもアジ研卒業生の人脈の広さを感じることができました。

さらに、海外参加者との活動は休日にも及び、浅草・秋葉原ツアーが実施されたほか、新宿で一緒に種々の買い物をし、鎌倉や横浜中華街を散策し、河口湖まで富士山を見に行き、ボーリング大会を行うなど、精力的に出掛けていました。

海外からは14か国から26名が参加されましたが、どの方々も私達国内参加者に礼儀正しく接していただき、日本の法制度や実務を各国の模範にできるものとして真摯に学ばれていました。私達国内参加者も、海外参加者から各国の風土、文化、習慣等も学び、日本国内にいながら大いに見聞を広めることができました。私達国内参加者が言葉を選びながらゆっくり話す英語を真剣に聞いてくださる姿勢には、人間的なやさしさ、思いやりを感じることもできました。

セミナーを通じて得た知見・経験は、かけがえのない思い出となりました。講師の方々、訪問先の方々、海外・国内参加者、快適な研修環境を整えてくださったアジ研の関係者の方々、そして

セミナーに参加できる貴重な機会を与えてくださった全ての皆様に、深く感謝し、心よりお礼を申し上げます。